

虹

六月号

(四十三)

平成 23 年
6 月 1 日発行

担当者
小山千晴
(戸山高校 2 年)

NEWS

- ・総会がありましたね！
- ・今月は夏フェスがあります！
- ・都合宿があるらしいですね！

■総会

今年度も総会がありました。昨年同様、ワークショップもあって楽しめたと思います。プロの方の発声方法、体の使い方などなど、盗めるものはできるだけ盗んでしまいたいよう！ 自校に持ち帰って役に立つこと間違い無しです。教えていただいた遊びもやってみるといいかもしれませんね。

さて、みなさん、中央地区担当の先生方は覚えてでしょうか。ここで、紹介しておきます。

後飯塚由香里先生（都立新宿高校）

武石慎一先生（駒込高校）

稲田実先生（暁星高校）

の三名です。ぜひ、覚えてみましょう！

また、総会で配布された紀要(青い冊子)には、大会に参加するにあたっての規約等、重要な文書がありますので、よく読んでおきましょう、読んでおいて損はしないはずですよ。

■夏フェス

夏フェスとは、いろんな学校の演劇部が集まってくる、いわゆる小さな発表会です。春に行われた春フェスと同じようなものです。

もちろん、各校がそれぞれ発表するのですが、他校と合同で発表してくれる学校もあったり、中学生が参加する学校もあります。要するに、参加形式は自由です。

また、夏フェスは各校の新人部員が外に出る機会でもあります。ここぞとばかりに確認しちゃいましょう。

今回の夏フェスは、6月10日(日)に駒込高校で行われます。

初めての学校も、そうでない学校も、是非ご参加ください！

要項は、「せんたりんく」↓

<http://centerlink.chu.jp/>を「う」覧下さい。

■都合宿

毎年行われる、都合宿ですが、今年も申し込みが開始しました。人数はまだまだ余裕があるようなので(6月1日現在)、参加を希望している方は今のうちに申し込みを済ませてしましましょう。

他校の生徒さんと交流し、数日間ともに過ごし、そして普段はあまり学べないことを学び、芝居を作る——楽しいものですよ(昨年の参加者談)。なにしろ、得るものは大きいはずですよ。

要項は、「せんたりんく」↓

<http://centerlink.chu.jp/>を「う」覧下さい。

「せんたりんく」を見れば、中央地区の全てが分かるといっても過言ではありません！ なるべく頻繁に確認するとよいですよ。

■ 今月の特集

く招待状が届いたよ

・招待状ってなんのことですか

「まあ！ お城からパーティーの招待状が届いているわ、どうしましょ！」というわけではありませんが、演劇部には時折、招待状が届くことがあります。ええ、パーティーの招待状ではありません。観劇の招待状です。

今月号は、そんな観劇の招待状が届いたら、どうすればよいのか、という話です。

・こんには招待状

さあ、招待状が届きました。どうやら、プロの劇団のようです。

「見に行きたいなー」そう思ったら招待状に記載されている通りの手順を踏んで招待されてみましょう。お金の心配はいりません、だって招待されているのですから、無料です。

心配することといえば、上演日程と会場の場所です。ものによると思いますが、多くの場合、観劇できる日程が決まっています。公演期間中のどの公演でも見られるというわけではありません。どうしても見に行きたいけれど日程が合わないという場合は、お金を払って見に行きましょう。

また、会場が遠すぎて行けないわ、という場合は招待されているときでもされていなくて、諦めましょう。諦めきれない方は尽力してください。

・いつてらっしやい招待状

さて、前項でさらっと「招待状に記載されている通りの手順を踏んで」と書きましたが、ちょっと説明しておこうと思います。

招待状は基本的に、FAXで送るものが多いです。わたしが見たことがあるのはFAXのものだけですが、もしかしたらEメール以外のものもあるかもしれませんが、とりあえず、ここではだいたいの招待状に記載されていることを紹介します。

・公演名などの基本情報

・希望する日時

・連絡先

こんな感じです。希望する日時については、数箇所の会場で上演される場合は会場の希望も問われるかと思えます。

さあ、必要な事項を記入したら、FAXで送信です！

——で、ここでたまに問題が発生します。「うち、FAXないんだよね…」という悲劇が起こることもあります。そんなときは顧問の先生に学校の

FAXを使わせてください、とお願いするか、コンビニから送信しましょう。

ただし、コンビニから送信する場合は非通知になつてしまうので、受け手（招待してくれている劇団など）が非通知のFAXは受けない、と設定している場合は送信できません。FAXを持っている友人を探すのも手です（ご友人に迷惑がかかるのであまりお勧めはしませんが…）。

まあ、そんな困難も乗り越え、FAXを送信できたとしましょう。そこで安心して招待状を無くさないように気をつけてください。控えとしてとっておくのはもちろん、招待状を観劇当日に、もつて行かないと会場に入れてもらえないこともあります。ご注意ください！

・心配しちゃうよ

「ちゃんと必要事項も書いて応募したし、あとは見に行くだけだな！」とウキウキしているときに、なんだか不安なことが…。「あれ？ 招待状をくれた劇団からなんの連絡もないなあ…」そんなこともあります。これ、担当者は体験しました。

記入することは全て記入して、連絡先だって書いたのに何の連絡もない。どうしよう、見に行つていいのかな？ と不安になりました。

どうやら、劇団によつては、希望に添えないときに限って連絡をしてくれるところもあるようです。もちろん、希望通りになりました、という場合でも連絡をくれるところもあります。劇団に

よりけり、というわけですね。どうしても不安だったら、問い合わせしてみるのも手かもしれません。また、応募してからキャンセルしたくなつた場合。招待されている身なので、できる限りキャンセルはしないほうがよいのですが、どうしてもキャンセルしたいときは、問い合わせてみましょう。招待状には、必ず問い合わせ先が記載されています。無断でキャンセルするよりは、いくらかはまします。

・え？ 来たことないよ

招待状つてうちの部活には来てるのかな、と疑問に思ったら、部長や顧問の先生に聞いてみましょう。普段から招待状や公演情報を発信してくれる部活もあれば、そうでない部活もあると思います。ちなみに、担当者の通う戸山高校では部長が適当なため招待状の類はごく稀にしか出現しません。

とにかく、聞いてみるのが一番です。

部長が適当とか、そういう人災(?)のなせるものではなく、本当の本当に届いていない場合はごめんなさい、対応の仕方は分かりません。

・これは招待状ですか？

招待状のほかにも、公演チラシが送られてくることがあります。今回の特集を読んだからといって、間違えてはいけません(間違えないと思いま

すが)。公演チラシの場合は、招待状ではないので、無料で観劇できるわけではありません。ただし、このチラシをもつてくると割引します、といったことが書いてあることもあります。要するに、招待状またはチラシらしきものを発見したら、よく確認しようね、ということですよ。

・まとめまーす

さて、まとめです。招待状がとどいたら。

- ・興味があつたら見に行ってみる
- ・招待状をよく読んで、記入すべきところは全て記入する

・困ったり不安なことがあつたりするときは問い合わせしてみる

この三点をおさえておきましょう。

招待状は意外とたくさん送られてきます。プロの劇団のものであったり、大学のサークルのものであったり、いろんなものがあります。無料で演劇(高校演劇を除く)が見られるなんて、滅多にありません。招待状が届いたら、ぜひ活用しましょう。最後に、招待状は一枚に一枚、しかも一人だけという場合が多いので、他の部員との兼ね合いが大切ですよ！

■ 日常茶飯事

今月はお休みします。

■ 随時募集中です

中央地区生徒広報誌「虹」で紹介、宣伝したいことを募集しております。「こんなことを知りたいから特集をして〜」など大歓迎です！
広報委員にご連絡ください。

■ 今月号はもう終わりです

さて、今月の「虹」もこれで終了です。そして日常茶飯事もお休みするという大失態です。今ここで反省を述べるとキリがないので省略しますが、次回も頑張ります。次回こそは……！
それでは、また来月お会いしましょう！